

## 令和8年度 社会教育の重点

第7次福島県総合教育計画の下、人づくり・地域づくりを目指すために、  
以下を重点施策とします。

### 地域・学校・家庭をつなげる、相双の社会教育事業の推進

- ・「つながり」を大切にし、地域の人々が学び続けられるよう社会教育事業を推進する。
- ・「相双ならではの」震災の記憶と教訓を継承し、ふるさとづくりを推進する。
- ・相双域内12市町村の復興に向けた地域と学校の協働活動を推進する。

## 豊

### かな心の育成

【県の施策】人生100年時代を見通した多様な学びの場をつくる

- 相双 → 『読書活動支援者育成事業相双地区研修会の開催』
- ・公立図書館及び学校司書との連携やつながりづくり
  - ・震災関連の作家や語り部と連携した震災を風化させないための読書活動の推進
  - ・選書や読み聞かせスキル、読書会ゲーム等の実技研修の実施

- 相双 → 『ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクトの推進』
- ・ビブリオバトル相双地区予選への中学生・高校生の参加者募集に係る活動  
(参加者目標中学生7名、高校生6名)
  - ・参観者の募集に係る活動(目標80名)
  - ・ビブリオバトルのすそ野を広げるための発信・研修(各中学校・高校での予選会の実施、小学校での実践)

## 人

### 材の育成

【県の施策】福島で学び、福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育を推進する

- 相双 → 『社会教育に関する各種研修会の開催』
- ・公民館訪問や社会教育研修の計画的な実施(他市町村からの参加)
  - ・社会教育主事・社会教育士の有資格者を増やすための講習受講の奨励と社会教育主事講習時の支援
  - ・地域連携担当教職員等研修会及び地域学校協働研修会の内容の工夫と周知
  - ・講話や実践発表、研究協議等を通じた地域連携担当教職員や地域学校協働活動関係者等の資質向上
  - ・PTAや青少年教育団体、社会教育団体関係者に対する講話や熟議等の研修を通しての支援
  - ・県生涯学習課と連携しての震災の記憶と教訓を継承するための支援

## 家

### 庭の教育力の向上

【県の施策】学びのセーフティーネットと個性を伸ばす教育によって多様性を力に変える土壌をつくる

- 相双 → 『地域でつながる家庭教育応援事業の推進』
- ・家庭教育3つの提言を活用すると共に、子どもからの意見も取り入れながらの改定作業
  - ・家庭教育応援企業による推進活動の情報収集・発信
  - ・応援企業の新規登録
  - ・家庭教育支援チームの新規登録

- 相双 → 『ふくしま絆ふれあい支援事業の推進』
- ・作品募集と域内選考作品集の作成
  - ・相双域内一次選考会及び表彰式の実施
  - ・学校現場や家庭で、日常的に十七字のふれあいを活用していくための啓蒙活動

## 地

### 域の教育力の向上

【県の施策】福島で学び、福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育を推進する

- 相双 → 『地域学校本部事業の推進』
- ・地域と学校の連携・協働の下、子どもの学びと大人の学びの充実
  - ・CSと地域学校協働活動の一体的な推進を進めるための支援(学びによるまちづくり、地域課題解決型学習、郷土学習、家庭教育支援活動)
  - ・「放課後子供教室」や「学校支援」を始め、子どもたちの居場所づくりや学習、体験活動の充実を図る支援
- 相双 → 『社会教育推進に向けた情報の共有』
- ・市町村社会教育担当者のネットワークの強化
- 相双 → 『文化財保護や伝統芸能保存の推進』
- ・文化財パトロールを通しての域内にある文化財の積極的な紹介・発信